

2 青い空を守る

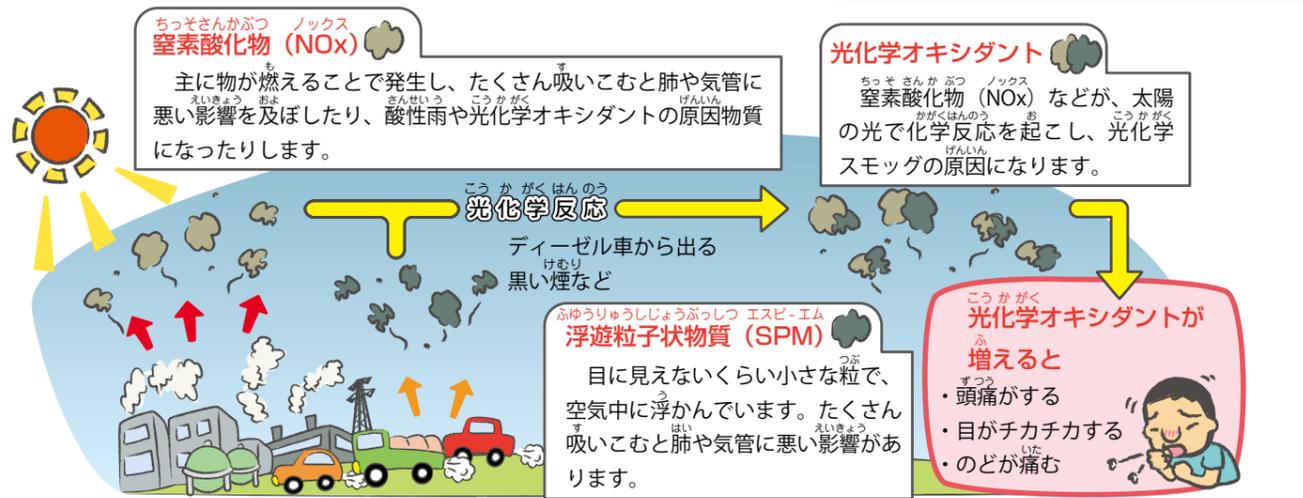
1 空気が汚れるってどういうこと?

わたしたちは、いつも呼吸をして生きています。空気はあまりにも当たり前があるので、ついつい忘れてしまいがちですが、なくてはならないものです。



ひまわりの丘は、いつも空が青くてきれいだね。わたしたちの世界の空はどんな色をしているのかな。

●空気が汚れるしくみ



夏のよく晴れた暑い日に、光化学オキシダント注意報や警報が発令されます。

光化学オキシダントが増えると、光化学スモッグといって、空が白くモヤがかかった状態になります。頭痛がしたり、目がチカチカしたり、のどが痛くなります。空気が汚れると、わたしたちにも大きな影響が出るのです。

●光化学スモッグが発生しやすい日

南系の弱い風 (3m/秒以下) のとき	日差しが強いとき	気温が高い (20℃以上) のとき	大気がよどんで視界が悪い (4Km以内) のとき
---------------------	----------	-------------------	--------------------------

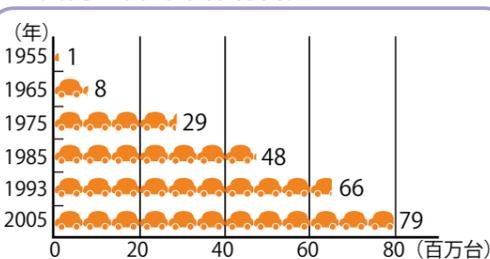
車1台当たりから出る汚れは減ってきたけど、車の台数が増えているから、空気が急にはきれにならないんだね。



2 原因はなに?

空気の汚れの原因となる大気汚染物質は、自動車などの排出ガスや工場から出る煙に含まれています。

●国内の自動車保有台数



資料：国土交通省総合政策局情報管理部「陸運統計要覧 平成18年度版」

3 空気を汚さないためには

ガソリンなどの燃料に含まれるイオウなどを少なくすることで、大気汚染物質を減らすことができます。道路渋滞は燃料の無駄づかいや排出ガスをたくさん出すことになるので、渋滞が起きないようにくみくりや、まちづくりが行われています。

また、工場では汚染物質を取り除く装置をつけるなどの対策を進めています。

○車の対策

- 排出ガスの規制を厳しくする。
- 環境にやさしい車(低公害車)を広める。
- 燃料をきれいにする。
- 渋滞が起きないようにする。



●低公害車の普及の割合



資料：(社)日本自動車工業会「低公害車等出荷台数」より 環境省作成



排出ガスの規制や、低公害車の普及を進めるなど、大気汚染を防ぐための活動がたくさん行われているけど、実際に車を利用するわたしたちにはなにができるのかしら?

○わたしたちにもできる身近な対策

エネルギーのムダづかいをしない



たくさんの電気や燃料を使うと、煙やガスが発生し、空気が汚れるよ。エネルギーのムダづかいをやめることは、大気汚染を防ぐことにつながるよ。

バスや電車を利用する



遠くへの移動はバスや電車などの公共交通機関を利用しよう。

歩くか自転車を利用する



普段の生活では、できるだけ歩いたり、自転車を使おう。

エコドライブ10のすすめ

- ふんわりアクセル『eスタート』
- 加減速の少ない運転
- 早めのアクセルオフ
- エアコンの使用を控えめに
- アイドリングストップ
- 暖機運転は適切に
- 道路交情情報の活用
- タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 不要な荷物は積まずに走行
- 駐車場所に注意

資料：エコドライブ普及連絡会 (警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)



！知っておこう！ 「パークアンドライド」で環境にやさしく

駅やバス停の近くに車をとめて (Park: 駐車して)、鉄道やバスに乗り換えて (Ride: 乗る) 目的地に行く方法のことを「パークアンドライド (Park & Ride)」といいます。排気ガスによる大気汚染を抑えたり、二酸化炭素の排出量を減らすなどの効果もあります。

現在、全国各地のショッピングセンターやレジャー施設などで取組が始まっています。

